



# 基本構想

# 1 策定趣旨

新潟市は、平成19（2007）年4月に本州日本海側で唯一の政令指定都市として新たなスタートを切り、以降、8つの行政区において、地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを進めてきました。

平成27（2015）年度からは、新潟市総合計画「にいがた未来ビジョン」に基づき、急激な人口減少・少子高齢化への対応を重要課題と捉え、安心して健康な暮らしを実現しながら発展を続けるまちづくりを推進してきました。

一方、国立社会保障・人口問題研究所がまとめた「日本の将来推計人口」では、今後も人口減少・少子高齢化の傾向が続いていくことが予測されており、国の傾向と同様、新潟市においても、本格的な人口減少局面を迎えています。

また、地球規模の気候変動により、近年、各地で豪雨災害が激甚化・頻発化していることなどを踏まえ、防災・減災対策の推進や脱炭素社会の実現など地球温暖化への対応も急務となっています。

加えて、南海トラフ地震や首都直下地震といった、首都圏を含めた太平洋側における大規模な震災への備えについても重要性を増しています。

世界を見渡せば、気候変動のほかにも、食料危機や貧困、人種やジェンダーに起因する差別など、様々な問題や課題に直面しています。このような時代において、誰一人取り残さないという理念のもと、持続可能なよりよい未来を目指すために、平成27（2015）年の国連持続可能な開発サミットで採択された令和12（2030）年までの世界共通の目標が「SDGs<sup>\*1</sup>（持続可能な開発目標）」です。

今、わたしたち一人一人が、こうした問題や課題を我が事として考え、行動することが求められています。

時代潮流が目まぐるしく変化する中、新潟市で暮らすわたしたちが力を合わせ、一人一人が明るい夢や希望を持てるような活力あふれるまちを築くとともに、このまちを豊かな状態で将来世代<sup>\*2</sup>に引き継いでいかなければなりません。

新潟市が目指す都市の姿や、その実現に向けたまちづくりの方向性をわたしたちが共有し、互いに連携・協働しながら取り組んでいけるよう、新たな新潟市総合計画を策定します。

\*1 Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。よりよい社会の実現を目指す2030年までの世界共通の目標で、2015年の「国連持続可能な開発サミット」において193の加盟国の全会一致により採択された。将来世代のことを考えた持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成されている。

\*2 現在の子どもたちや、これから生まれてくる子どもたちなど、将来を担う世代。

## 2 まちづくりの理念

みんなで新潟市の強みを活かし、人口減少時代に躍進する、  
『活力あふれるまちづくり』、『持続可能なまちづくり』  
を進めます

### 新潟市の現状・時代の潮流

新潟市は、人流・物流拠点としての機能を有する本州日本海側最大の都市部と、多彩な水辺・里山といった自然豊かな田園地域が、互いの良さを活かし合いながら共存しています。こうした「都市と田園の調和」というまちの特性は、暮らしやすさをはじめ、様々な場面において新潟市の大きな強みとなっています。

一方、全国的な人口減少や、近年各地で激甚化・頻発化する自然災害、変化する国際情勢など、わたしたちの暮らしを取り巻く社会環境は、そのかたちを変え続けています。

また、新型コロナウイルス感染症の流行は、急速なデジタル化の進展など、人々の意識や行動、暮らし方に大きな変化をもたらし、若い世代を中心とした地方移住への関心の高まりなど、東京一極集中の傾向にも変化の兆しが見られています。

### これからのまちづくり

こうした時代潮流を背景に、これからのまちづくりにおいては、これまで以上に心の豊かさに価値が置かれる成熟した社会へと発展させていく重要性が高まっています。

心の豊かさを測るものさしは、一人一人の価値観や、身体的・精神的・社会的な状態によって異なるものですが、心豊かな暮らしを送るためには、明るい未来が展望できる、将来への安心感が欠かせません。だからこそ、活力あふれる新潟市を築き、それを将来にわたって持続させていかなければなりません。

そのためには、持続可能な経済成長や、ジェンダー平等の実現、気候変動の対策など、SDGsで掲げられている目標や考え方を意識しながら、経済・社会・環境の三側面の調和を図りつつ、それぞれの側面の豊かさを高めることが重要です。三側面の豊かな調和が図られることで、暮らしやすいまち、訪れたいまち、ビジネスを展開したいまちとして、様々な分野・場面で国内外から選ばれる『活力あふれるまちづくり』、そして、豊かな調和を未来へつなぐ『持続可能なまちづくり』を進めていきます。

人口減少時代において、『活力あふれるまちづくり』と『持続可能なまちづくり』を重ね合わせて推進するためには、市民の新潟への誇りと愛着を育むとともに、市民や民間事業者を含め、多様な主体とのパートナーシップのもと、新潟市の強みを最大限に活かしながら、総力を挙げて取り組む必要があります。

このまちづくりの理念のもと、将来にわたって新潟市ならではの「心豊かな暮らし」ができるまちを実現し、将来世代へ引き継いでいきます。

# 3 目指す都市像

まちづくりの理念に基づき、新潟市が令和12（2030）年に目指す都市像を示します。

## ●目指す都市像

『田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市』



経済・社会・環境の三側面の豊かさを調和し高めることで、「活力あふれるまちづくり」、「持続可能なまちづくり」を推進し、都市像の実現につなげます。

## 目指す都市像のイメージ

新潟市が目指す都市像について、経済・社会・環境の三側面ごとに、そのイメージを記載します。

### ◎豊かな経済 ～新潟市の強みを伸ばし、活かし、挑戦する～

- ◆全国・世界とつながる日本海拠点都市として人・モノ・情報が行き交い、地域経済に活力があふれています
- ◆地域の外から多様な人材や投資を呼び込み、地域内で経済が循環しています
- ◆食や農など新潟市の強みを活かした革新的ビジネスが生まれ、若者にとって魅力的な就業の機会が創出されています



### ◎豊かな社会 ～共につながり、安心を広げる～

- ◆いきいきと働きながら、地域活動や子育てができたり、家族や友人との充実した時間が持てるなど、楽しく過ごしています
- ◆家庭や地域、多くの人々に見守られながら、子どもたちが笑顔いっぱいに成長しています
- ◆人権や多様性を尊重し、互いに支え合いながら、健康で、安心して暮らしています
- ◆文化芸術・スポーツが盛んで、心身共に充実した生活を送っています
- ◆広大な田園環境と日本海に育まれた、四季折々の豊かな食や歴史を楽しんでいます
- ◆各地域の拠点や日常生活の拠点がつながり、移動や交流がしやすく、便利で質の高い生活を送っています
- ◆都市全体・地域全体で防災・減災力を高め、激甚化・頻発化する自然災害に備えられています



### ◎豊かな環境 ～守り、育み、未来へつなぐ～

- ◆ゼロカーボンシティ\*<sup>1</sup>、循環型社会に向けたまちづくりが進み、自然環境と調和し共生しています
- ◆田園・里山や、日本海・大河・潟といった多彩で豊かな自然を身近に感じ、四季を満喫しています
- ◆まちなかにも花や緑があふれ、きれいな水や空気に包まれながら、潤いのある生活を送っています



\*1 脱炭素社会に向けて、2050年までにCO<sub>2</sub>の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を表明した地方自治体のこと。

## SDGs（持続可能な開発目標）とは



2015年9月開催の「国連持続可能な開発サミット」で193の加盟国の全会一致により採択された、よりよい未来を目指すための2030年までの世界共通の目標「Sustainable Development Goals」の略称です。

SDGsでは、将来世代のことを考えた持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットを掲げ、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。開発途上国だけでなく先進国を含む全ての国で取り組むことが大きな特徴です。

日本においても、行政をはじめ民間事業者や市民団体など多様な主体によって、SDGsの達成に向けた取組が進められています。

## SDGsと新潟市総合計画2030との関係

新潟市においても、人口減少や少子高齢化の進行による労働力不足など将来想定される変化・課題を見据えて、持続可能なまちづくりを進めていく必要があり、その目指す方向性は、SDGsで目指すところと一致しています。また、新潟市は令和4（2022）年5月にSDGsの達成に向けて優れた取組を行う自治体として「SDGs未来都市」に選定されました。

これらを踏まえて、現在世代だけでなく将来世代まで心豊かに暮らし続けられる新潟市を実現するとともに、地方自治体としてSDGsの達成に貢献することを念頭に、新潟市総合計画2030を策定しました。

## SDGsにおける17の目標



**目標1 貧困をなくそう**  
あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる



**目標2 飢餓をゼロに**  
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する



**目標3 すべての人に健康と福祉を**  
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



**目標4 質の高い教育をみんなに**  
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



**目標5 ジェンダー平等を実現しよう**  
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う



**目標6 安全な水とトイレを世界中に**  
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



**目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに**  
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



**目標8 働きがいも経済成長も**  
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する



**目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう**  
強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



**目標10 人や国の不平等をなくそう**  
国内及び各国間での不平等を是正する



**目標11 住み続けられるまちづくりを**  
包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する



**目標12 つくる責任 つかう責任**  
持続可能な消費生産形態を確保する



**目標13 気候変動に具体的な対策を**  
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



**目標14 海の豊かさを守ろう**  
持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



**目標15 陸の豊かさを守ろう**  
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



**目標16 平和と公正をすべての人に**  
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



**目標17 パートナリシップで目標を達成しよう**  
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する